

創立20周年！！

# 夢を追い 空翔ける

令和6年4月25日（木）埼玉県立戸田翔陽高等学校 学校通信第2号

☆誰ひとり取り残さない戸田翔陽高校☆

## 少人数学級&ICTの推進

本校では少人数学級編制とICTの活用により、生徒の学習状況を把握しながら、各先生方がきめ細やかな授業を展開しています。

先生との距離が近いので、生徒たちも先生と積極的に対話をしながら授業に参加しています。生徒どうしはもちろんのこと、先生とも対話を重ねることで、生徒たちはとても楽しそうに学んでいます。

今年度は、1・2年次生の1人1台端末の使用が始まります！これまで培ってきたノウハウに加え、また新しいことにも挑戦しながら教育活動を進めていきます。



## ひとりで抱え込まないで。いつでも待っているよ。

本校には、養護教諭のいる保健室以外に、カウンセリングルームがあり、教育相談のスタッフが毎日常駐しています。本校の教育相談スタッフには、教育相談員2名、スクールカウンセラー1名、スクールソーシャルワーカー1名を配置していて、充実した教育相談体制をとっています。

カウンセリングルームのスタッフは、生徒ひとりひとりの悩みや問題を一緒に考え、毎日の生活をより楽しく充実して過ごせるようにお手伝いいたします。生徒の相談はもちろんのこと、保護者の相談にも対応しています。詳しくは学校までご連絡ください。



### 【今後の予定】

- 5月11日（土）PTA・後援会 総会
- 5月15日（水）～5月20日（月）中間考査
- 5月21日（火）体カテスト
- 5月22日（水）生徒総会

本校の学校通信は  
ホームページからも  
見られます。



## 授業・「日本語基礎」スタート

本校には、外国にルーツのある生徒など、国籍に関わらず日本語が母語ではない生徒がいます。今年度より、そのような生徒が補習としてではなく、授業として日本語を学び、単位を取れるように学校設定科目を設置しました。第1回目の授業では、まずはお互いの自己紹介を日本語で行い、各自の時間割にある各科目の読み方や担当の先生を確認し、生徒たちが学校生活をスムーズにスタートできるように活動しました。



本校では「日本語」の科目を3種類設定することで、生徒が進級しても継続して授業で日本語を学べるようにしています。日本語能力検定なども積極的に受検し、各自の目指す進路を実現できるように支援していきます。

## Everyone is different and that is good!!

多文化共生室がスタートしました。多文化共生室では、外国籍の生徒など、日本語が苦手な生徒のために、2名の日本語支援員が日本語を丁寧に教えてくれます。基本的なレベルから、進学や就職に必要なN2以上のレベルにも対応しています。



また、昨年度は多文化共生イベントとして、バドミントン大会を実施したり、文化祭に出展したりしました。日本語をもっと上達させたい生徒はもちろんのこと、話を聞いてもらいたい、みんなと交流したい、という生徒も参加できます。国籍は関係ありません！みんな違って、みんな良い！！



## 部活動

軽音楽部や演劇部による新入生歓迎ライブや公演が実施され、新入生はそれぞれに希望する部活動に参加し始めました。土曜日には心地よい春晴れの中、生徒たちは部活動を大いに楽しんでいました。本校では、運動部はもちろんのこと、文化部も生徒たちが自主的に活動し、先生方も一緒に楽しんでいきます。

